

【特典】

初めてピアノを弾く子どもへの教え方

リズムの教え方



※対象年齢:小学1年生

スカラー

■ はじめに

このレポートの利用に際しては、以下の条件を遵守してください。

このレポートに含まれる一切の内容に関する著作権は、レポート作成者に帰属し、日本の著作権法や国際条約などで保護されています。

著作権法上、認められた場合を除き、著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部を、複製、転載、販売、その他の二次利用行為を行うことを禁じます。

これに違反する行為を行った場合には、関係法令に基づき、民事、刑事を問わず法的責任を負うことがあります。

レポート作成者は、このレポートの内容の正確性、安全性、有用性等について、一切の保証を与えるものではありません。また、このレポートに含まれる情報及び内容の利用によって、直接・間接的に生じた損害について一切の責任を負わないものとします。

このレポートの使用に当たっては、以上にご同意いただいた上、ご自身の責任のもとご活用いただきますようお願いいたします。

■ 目次

■ はじめに.....	2
■ リズムの教え方	4
リズムの言い方.....	5
2拍子のリズムから覚えてもらおう！	6
8種類だけ覚えたら、あとは応用！	6
歌い方	7
リズムカードを2枚組み合わせる	8
まとめ	10

■リズムの教え方

それでは今から、リズムの教え方のお話しをしたいと思います。

リズムはピアノを弾くうえで、音符を覚えることと同じくらいとっても大事なことです。

楽譜は音とリズムが分かって初めて弾けるのです。でも意外に「音は分かるんやけど、拍の長さがイマイチよく分からない」と言う方が結構いらっしゃいます。

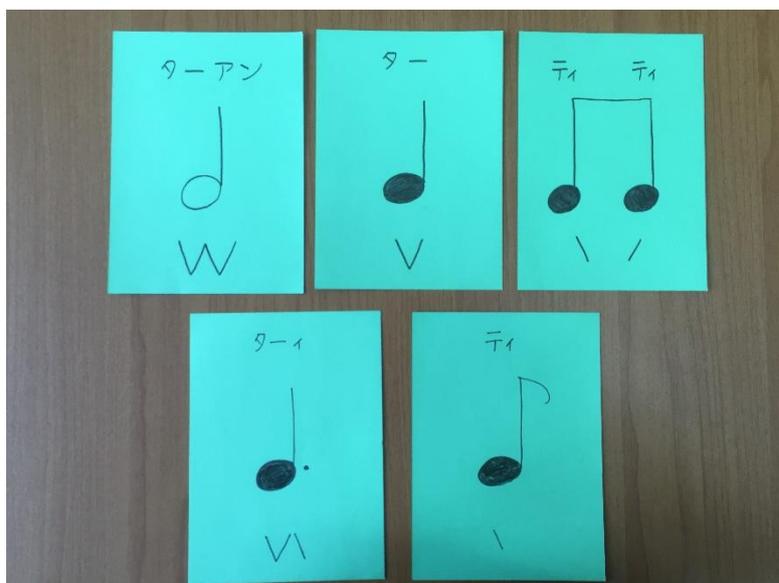
でも初期の段階からしっかり教えれば、「リズムが読めない」、「リズム感がない」みたいなことにはならないので安心してください(*^-^*)

教える対象は小学1年生なので、理論というよりかは、最初は体でノリで覚えてもらう方が良いでしょう(^^♪

それでは次から実践です！！

リズムの言い方

まずはリズムの言い方を覚えましょう。



- ・ 2分音符＝ターアン
- ・ 4分音符＝ター
- ・ 8分音符 2つ分＝ティティ
- ・ 付点 4分音符＝ターイ
- ・ 8分音符＝ティ

この「ターアン」とか「ター」を「リズム唱」と言うのですが、一番最初にこの5種類を徹底的に覚えてもらいます。毎回のレッスンで時間をとって完璧に覚えられるまで繰り返しやってもらいます。

音符を見ただけで自然とリズム唱が言えるぐらいまで根気よくやってきましょう(*^-^*)

それができたら、2拍子のリズムを覚えていきますよ！

2 拍子のリズムから覚えてもらおう！

まずは **2 拍子のリズム** から覚えてもらいます。

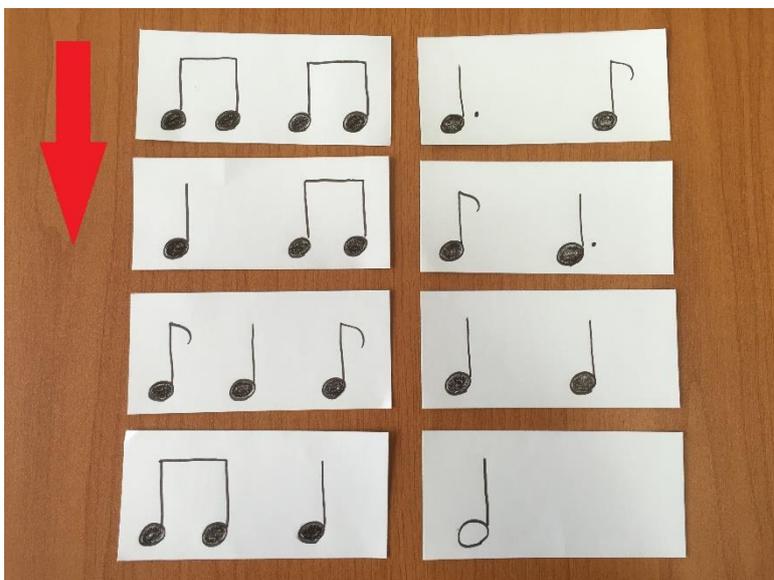
理由は、3 拍子も 4 拍子も「2 拍子の応用」だからです。

2 拍子をまずはしっかり覚えて、あとで応用に持っていくって感じです。

個人的には、2 拍子のリズム→4 拍子のリズムと進めたら良いと思います。

8 種類だけ覚えたら、あとは応用！

2 拍子のリズムの組み合わせはこの 8 種類しかありません。(基本のリズムです。16 分音符とかは除く)



※歌う順番は、左側の矢印から順番に歌います

歌い方

「ティティティティ」→「ターティティ」→「ティターティ」
「ティティター」

→「ターィティ」→「ティターィ」→「ターター」→「ター
アン」

こんな感じで読んでいきます。

この紙を見ながらリズムを上からだ～～と歌っていきます。

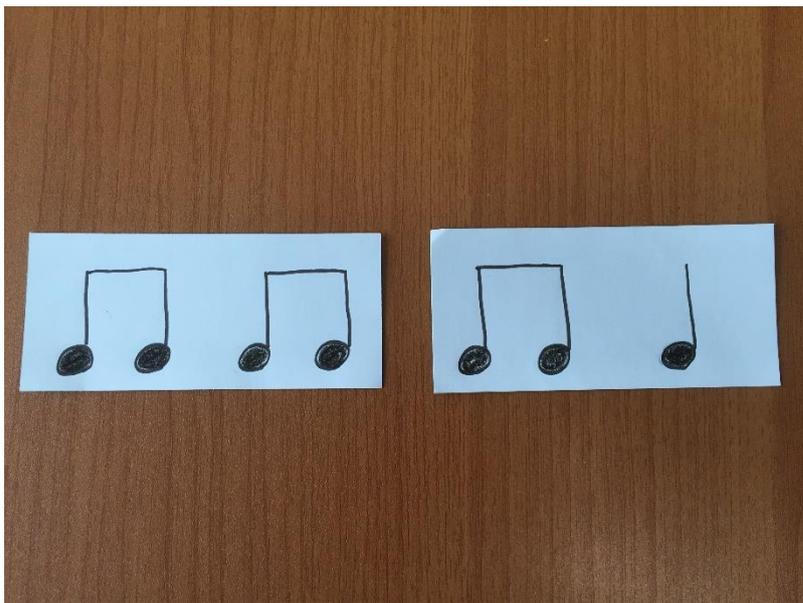
リズムの言い方を動画にしたものがありますので、参考にしてもらえたらうれしいです。



リズムカードを2枚組み合わせる

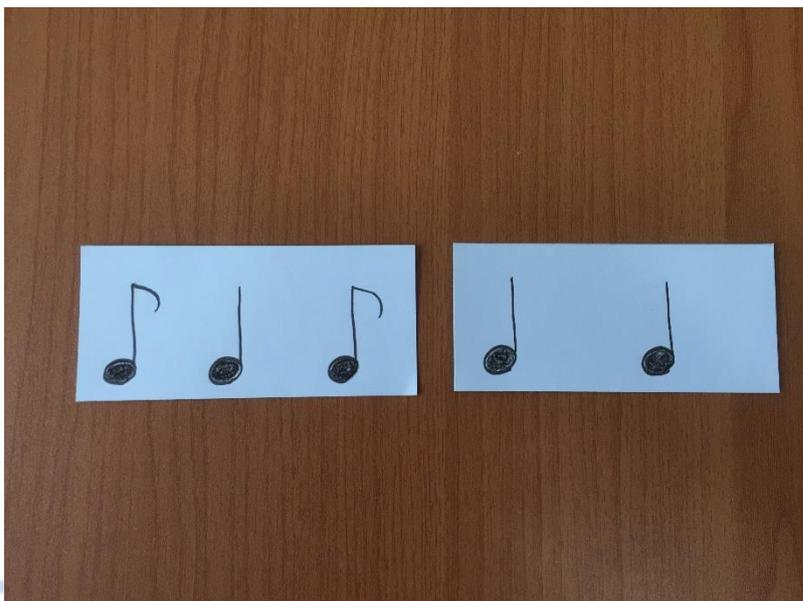
上記の2拍子のリズムが覚えられたら、今度は2枚のカードを組み合わせたたきます。
カードを2枚組み合わせることで、自然と「4拍子のリズム」を打つことになるんです。

まず1つ目、「**ティティティティ ティティター**」です。



これですと、「**ティターティ ターター**」です。

(※この「ティターティ」というリズムをシンコペーションと言います)



初めてピアノを弾く子どもへの教え方～リズムの教え方

こんな感じで、毎回のレッスン時に5分か10分ほどとって、子どもが「飽きたあ～」というまで繰り返しやり続けます。

中には「ティターィ」や「ティターティ」など、少し取っつきにくいリズムがあるのですが、最初は理屈抜きで、先生がお手本でたたいてあげて、感覚として覚えてもらうのが良いかと思えます。

ある程度リズムが打ててきたら、「5才のリズムとソルフェージュ」の本を使って進めていきます。

こんな本です。「5才のリズムとソルフェージュ」



まとめ

- ・ 2拍子のリズムから覚えてもらう（3拍子4拍子は応用やから）
- ・ 2拍子のリズムパターンは8種類のみ
- ・ 理屈が先ではなくて、先生のマネをしてもらって、感覚で覚えてもらう
- ・ 毎回のレッスンで5分～10分ほどリズム打ちをする
- ・ できてきたら、「5才のリズムとソルフェージュ」を使って進めていく

以上で、「初めてピアノを弾く子どもへの教え方～リズムの教え方」は終わりです。

最後まで読んで下さりありがとうございます m()m

◆作成者 スカラー

◆特定商取引法に基づく表記 <http://loopline.shop-pro.jp/?mode=sk>